

本時のテーマ 不自然さを感じさせない話し方を身に付けるための指導の在り方

1 題材名 「キ」をじょうずに発音しよう

2 児童の実態と個別目標

氏名・学年	実 態	目 標
A 3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ケ」が「クェ」と「チェ」の間、「キ」が「キ」と「チ」の中間のような発音をし、グジュッとした音に聞こえる。本児も「キとチを間違える。」と自覚している。その他、キャ行、ゲ、ギ、ギャ行、シ、シャ行、チ、チャ行、ジ、ジャ行、ニ、リの音が歪んでいる。時々、イ音も歪む。</li> <li>・イ列音を発音するとき、下顎が左にずれる。</li> <li>・食べ物を片側の奥歯（左）だけですりつぶすことが多い。</li> <li>・構音器官の形態に問題を感じないが、ブローイングのときにかすかに鼻漏れがあった。発音時にもかすかに鼻漏れがある。</li> <li>・「ゆうびんきょく」を「ゆうびんちょく」、「ぎゅうにゅう」を「じゅうにゅう」と表記するなど、表記の誤りがある。</li> <li>・「ことばづかいをなおしたい」という願いを持っている。</li> <li>・友達と仲良く遊ぶことができ、からかわれることはない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口の体操をして、発音器官の機能を高める。 6-(2)</li> <li>・自分の発音を聴覚的にフィードバックして、正誤の弁別力をつける。 6-(2)</li> <li>・キ音の正しい構音方法を身に付け、音読や日常会話での定着を図る。 6-(2)</li> </ul>

3 指導計画（8時間取り扱い） ○は本時

ステップ	口作り	耳作り	音作り
1 2	口の動きを観察	「イ」の音の聞き出し 「イ」の音の弁別	舌出し「イ」の誘導と固定 「イ」を復唱、自発レベルで安定
3 4 5 6 7	口の体操 (顎、唇、舌、頬、軟口蓋)	「キ」の音の聞き出し 「キ」の語内位置弁別 「キ」の異同弁別 「キ」の正誤弁別 「キ」の比較・照合	「キ」の誘導と固定 「キ」を含む無意味音節の復唱 「キ」を含む単語を復唱 「キ」を含む短文の復唱 「キ」を含む単語・句・短文の自発レベルでの安定
8	母音の口形練習		「キ」の自由会話での安定

4 本時のテーマにせまるために、口の体操や耳の訓練、発音の練習を通して、歪み音を改善し、不自然さを感じない話し方を身に付けることをねらっている。歪み音はイ列音や拗音で見られるが、直したいと願っている音から始めていこうと考える。イ音を安定させてから、キ音の構音指導を行いたい。歪み音の改善にあたっては、自分の音をフィードバックで聞き直したり、正しい音づくりのための口を作ることが必要である。繰り返しの練習が多く単調になりがちなので、遊びやゲームを取り入れ楽しく練習ができるようにしていきたい。Aは、おとなしく素直で友達とも仲良く遊ぶことができている。発音のことでからかわれ、よくなるとはならないが、発音の誤りを自覚している。直したいと願っている音の練習に舌の歪みを直す顎についで、舌の動きに癖があり、イ列音のときは下顎が左にずれ、舌音の歪んでしまっている。また、「キ」と「チ」、「ギ」と「ジ」、「シ」と「ヒ」の聴覚的弁別も誤ることで指導にあたっては、まず舌の癖を取り除きコントロール力や動きを高め、真で示して口腔機能療法のMFT鏡で教師や自分の動きをよく見て、一つ一つ正しい位置や動きを写し取らせて、筋力がよくなるように聞き分けると、意欲的に取り組めるように舌ジャンケンなどの遊びも取り入れる。次に音を正しく意味なく発音する、教師が発音する音に、必ず正しい音を○文を×の中に入れて復唱させたり、なぞなぞをする。単語絵カード、短文カード、なぞなぞ

5 本時の指導

- (1) 個別目標
  - ・キ音の正誤弁別が正しくできるようにする。
  - ・キ音を含む句や短文を、正しく発音できるようにする。
- (2) 準備・資料
  - 鏡（大・小）、舌の写真、母音の口形写真、玉子ボーロ、ペンライト、舌圧子、単語絵カード、短文カード、なぞなぞ

(3) 展開

(㊦) 本時のテーマにせまるための手立て

学習活動・内容	指導上の留意点・評価
<p>1 始まりの会をする。                      (1) 始めのあいさつをし、自由会話をする。                      (2) 前回の復習をする。                      ・「キ」を含む単語を復唱する。                      (3) 本時の学習のめあてを知る。                      ことばや文の中の「キ」を言う練習をしよう。                      (4) 本時の学習の流れを聞く。                      ① 口の体そう                      ② 「キ」の聞き分け                      ③ 「キ」を言う練習</p> <p>2 口の運動をする。                      (1) 舌を平らにする。                      (2) 口の形に注意して母音を言う。                      (3) MFTのレッスン1をする。                      (4) 舌遊び                      ・舌ジャンケンと舌あっちむけホイ</p> <p>3 耳の訓練をする。                      (1) 単音で「キ」の正誤弁別をする。                      (2) 無意味2, 3音節で正誤弁別をする。                      (3) 単語で正誤弁別をする。                      ・「キ」を含む一つの単語で。                      ・「キ」を含むいろいろな単語で。</p> <p>4 「キ」のつくことばや文を発音する。                      (1) 「キ」のつくことばを「と」でつないで発音する。                      (2) 単語絵カードで神経衰弱をする。                      (3) 「キ」を含む短文を音読する。                      (4) などなどをやる。</p> <p>5 終わりの会をする。                      (1) 学習を振り返り、がんばったことを話す。                      (2) 終わりのあいさつをする。</p>	<p>・明るくあいさつを交わし、リラックスした雰囲気の中で、スムーズに学習に取り組めるようにする。                      ・語頭、語尾、語中にキ音が含まれている単語を復唱させる。</p> <p>・本時の学習課題・内容の順番を確認し、見通しをもって学習に取り組めるようにする。                      ・ホワイトボードに学習の流れを示す。</p> <p>㊦舌の正しい位置や動きが分かるように、写真や教師の口元を見せる。2人が映る鏡を使用し、舌の動きを確認させる。</p> <p>・玉子ボーロを使って、意欲的に平らな舌を20秒以上保持できるようにする。                      ・エ音、イ音の舌の位置や形を確認する。                      ・MFTのレッスンはどの運動も7~10回行う。</p> <p>・はじめに正しい音と歪んだ音を聞かせる。</p> <p>㊦教師の発音をよく聞き、○×ブザーを使って評価する。</p> <p>・正確にできるようになったら要領よく次々に行う。</p> <p>㊧キ音の正誤弁別が正しくできたか。(観察)</p> <p>・単語絵カードを何枚か並べ、「キリンとキノコ」のように発音させる。2音節語頭単語から始める。                      ・神経衰弱でカードをめくったら「○○と○○でした。」と自発させる。                      ・短文はゆっくりと復唱させたり自発させたりする。                      ・誤り音は自分から言い直しができるようにする。</p> <p>㊦聴覚的印象が不自然な音のときには、舌出しイ音に戻って発音し直す。誤りやすい単語は何度も言う練習をする。</p> <p>㊧キ音を含む句や短文が正しく発音できたか。(観察)</p> <p>・がんばったことをほめて、次時の学習の意欲につなげる。</p>

(4) 板書計画

1.1月15日(木) 天気

時計	口の体そう	「キ」をじょうずに発音しよう ことばや文の中の「キ」を言う練習をしよう。
時計	「キ」の聞き分け	
時計	「キ」の発音	
時計	ふりかえり	

平らな舌の  
写真

「イ」の  
口形図